

# 足立健康友の会 かばら支部ニュース

第83号

2015年6月18日  
電話 3605-5594  
http://kabara-tomon  
okai.kenwa.or.jp/  
mail:kabarashibu@ya  
hoo.co.jp

## 全国公害被害者総行動デー

### 公害は一生 体をむしばみ続ける

環境週間の6月3日～4日に、毎年恒例の全国公害被害者総行動デーの取り組みが行われました。

東京電力福島第1原発事故から4年余がたつなか、政府が避難指示の解除や賠償の打ち切りなどを決めようとしている動きに、生活再建などの緊急要求を掲げて3日、政府・東電交渉を行いました。

交渉で福島原発避難者訴訟原告団長は、「一方的に打ち切らない」「説明会をもつて住民の理解を得たとするな」と要求しました。

以下は参加者の報告です。

日比谷公会堂で6月3日（水）に行われました。この日比谷公会堂は古い建物で戦後は、この会場でオーケストラの発表会などが開



政府・東電と原発原告団が交渉 共産党HP

かれていたのですが残念ながら来年から耐震工事など大規模改修工事に入るため最後の集会となります。最後の集会で5時半から荒馬座の獅子舞でオープニングが始まり、獅子が高くなったり娘獅子が出てきて会場内を回ってくれ和ませ

せてくれました。いつも争議をトラペットを吹いて応援してくれた松平さんの演奏がありました。歌手の橋本のぶよさんのステキナ声を聞かせてくれました。

6時から基調報告で現状の公害と裁判の流れが報告されて、続いて公害における本人たちの苦しい体の状態が訴えられ永い年月が体をむしばみ続けている。そして裁判が終わったり和解をしても、体内に入った物質は無くならないのです。基地問題、原発問題も“国による政策”で終わりの見えない闘いを続けている人たちがなんと多くいるかが解りました。最後に永年の労苦をかかえ闘ってきた人たちに感謝状が実行委員会から送られていたのも感無量で締めくくられていました。 報告 小川 務

5月31日（日）に東京土建綾瀬分会の住宅デーが綾瀬駅前のはと公園で行われ、健康友の会として恒例の「青空健康チェック」を行いました。当日は今年に入り一番暑い日になりました。この住宅デーにはいつも参加していますが、若い人

## 八ト公園で健康チェック 東京土建住宅デーまつり

が多く、にぎやかです。子どもたちは組合の人から指導を受け木の本立て作りに熱心に取り組みます。また、ミニSSLに乗り楽しそうです。前に並んだテントでは「焼きソバ」「焼き鳥」「ポップコーン」などがとても良い臭いで食欲をそそります。

そんな中、土建の組合員が時々、血圧測定と体脂肪測定に来てくれる人がいます。ちょっと太り気味と思う人でも意外に体脂肪は平均値でした。中に一人だけ血圧の高い人がいました。「病院で待たされイライラして薬をもらわずに来た」そうです。仕事に行っても「血圧が高い」と注意されることが仕事をしなければならぬ、と言うこ

報告 美田 恵子



# 介護保険が4月から改正されました 保険料が23区で2番目に高い6180円に

平成12年から始まった介護保険制度は3年ごとに見直され、今年4月大きな改正がありました。全体的に介護報酬がマイナス2・27%の改正で、通所リハビリ(病院や老健の中にあるデイ)以外のヘルパー、デイサービス、ショートステイ等は単価が下がり、加算で上乗せする方式になっています。加算は「看護師がいる」「研修をやっている」等細かく決まっており、私達ケアマネ、利用者、サービス事業所も契約取り直し、プラン変更等の業務に追われ、4月と大変でした。加算を取れば収入は増えますが、介護以外の業務が増え職員の負担



は大きくなります。

皆さんの身近な所では65歳以上の介護保険料が値上がりしました。足立区の基準額は23区内で、港区の6245円に次いで2番目に高い6180円(月額、平成26年度は570円)です。この金額を基準とし、所得に応じて1860円~16690円の保険料となっています。4月上旬に足立区から決定通知書が送られてきていますので、去年と比較して見て下さい。ほとんどの方が値上がりしていると思います。一番安い江戸川区は20億の基金を投入し、また要介護者を減らそうと軽運

動等の「元気施策」に取り組み4900円の基準額に押さえています。足立区でも何かできなかったのでしょうか。他にも特別養護老人ホームの入居基準が要介護3以上、一定の所得がある利用者は利用料が2割になる等、皆さんにとっても負担の大きな改正となっています。改正によって困る利用者の声を行政に上げていかなくはいけません。皆さんお困りのことがございましたら、遠慮なくご相談ください。

ケアマネジャー 田原 由美子

## 物作りは楽しい テッシュの袋作りに挑戦 東和3丁目 すみれ班

ほぼ毎月一回、集まりを持って「すみれ班」の5月の班会は5月28日(木)に開かれました。いつもの顔ぶれが、そろい始めると、常連の

「さんはお休み」「さんは遅れて来ると連絡があった」「あの人どうなったか電話してみよう」などの班会に参加するメンバーの確認



をしていました。この日の課題はテッシューパーの箱を入れる袋を作ることでした。各人が持ちよった布切れを広げながら「この布の模様は素敵だね」「この柄は好きなの」「さんはこの柄が合うね」などの会話をしながら箱の大きさに合わせて裁断します。そして壁にかけられるようにひもも作りま

す。手先を器用に動かしながら、隣の人の作り方を参考に、上手に仕上げて行きます。ミシンで縫う役は家主の金子さんの役割。布を2階にいる金子さんに運ぶのは関茂さん。作業中に身近な話題が持ち上がり、隣近所の人のこと。「ある人は毎日、リハビリを兼ねて歩いてるのよ」「釣りに行って針を指に刺した話」の顛末。「こうして手を動かしながら、何か作っていると、頭は働くしボケないね」「一人じゃなくて、みんなでワイワイしている、この場所が良い」などなど、話は尽きません。そして誰からとなく「お茶にしましょう」とお茶タイムの始まり。この日は水羊羹、せんべい、麦茶。みかんの一種。などがテーブルに並びます。亀井さんの紹介で初めて参加した人も、さつそく友の会に入会してもらいました。みなさんの楽しい笑顔が素敵な班会でした。

取材 嶺岸 宏

## ストップ安倍政権

国会の審議で憲法学者から「平和安保法制」の意見を聞く場がありました。

自民党推薦、民主党推薦、維新の党推薦の3人の学者とも安倍内閣が進めている集団自衛権の行使は憲法違反になると証言しました。

息子を戦場に送らない！意見募集